

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 平成30年度

施策コード	343	施策	地域医療体制の充実
管理事業	地域医療支援事業	1	枚のうち 1 枚目

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
① 吹田市医療審議会運営事業	地域医療推進室	吹田市医療審議会を開催し、地域医療の充実のために、救急医療やその他医療に関する諸問題について審議を行う。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成 30 年度	☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☒ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性 ※課題があるものは■	・類似の会議体との関係を整理し、効率的・効果的な会議体のあり方について検討する必要がある。	継続
(千円)			
119			

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
② 地域医療推進事業	地域医療推進室	北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくり会議の開催及び、在宅医療推進の環境づくりやかかりつけ医等の定着促進に向けた具体的な取組等についての議論を行う地域医療推進懇談会を開催する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成 30 年度	☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☒ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性 ※課題があるものは■	・在宅医療等の推進に関しては、福祉部所管の在宅医療・介護連携推進事業との関連が深いことから、両部が連携し、高齢化の進展を見据えて計画的に取組の推進を行う必要がある。 ・令和元年7月に国立循環器病研究センターが健都に移転し、健都も施設整備からソフト連携促進の段階にきている。今後も、更なるまちの発展のため、関係団体の情報共有と連携促進の機会が必要であることから、北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくり会議のあり方を検討していく必要がある。	継続
(千円)			
2,282			

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
③ 地方独立行政法人市立吹田市民病院運営費負担事業	地域医療推進室	地方独立行政法人の事業の経営に伴う収入をもって充てることが適当でない経費及び能率的な経営を行ってもなおその事業の経営に伴う収入のみをもって充てることが客観的に困難であると認められる経費に対し市が設立団体として負担金を支出する事務を行う。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成 30 年度	☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性 ※課題があるものは■	・市立吹田市民病院は、平成26年4月に地方独立行政法人に移行し、自主・自律的な病院運営を行っているが、新病院建設のための起債償還については、市の費用負担が増加する。	継続
(千円)			
1,072,217			

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
④ 地方独立行政法人市立吹田市民病院評価委員会運営事業	地域医療推進室	地方独立行政法人市立吹田市民病院の業務実績評価等に際し、評価委員会から意見聴取するなど、同評価委員会の運営に関する事務を行う。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成 30 年度	☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☒ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性 ※課題があるものは■	・設立団体である市が、市立吹田市民病院の評価を行うに当たり、評価委員会を開催することで、各委員から専門的な知見に基づく意見を得ているが、今後、より効率的な意見聴取が可能となるよう、運営方法について検討が必要である。	継続
(千円)			
90			

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑤ 豊能広域こども急病センター事業	地域医療推進室	小児の一次救急体制整備をするために、運営費負担金を支出している。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成 30 年度	☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性 ※課題があるものは■	・全国的に小児科医師確保が困難な状況が続く中、将来的に安定・継続した医療を確保するためには、市の費用負担の増加も懸念される。	継続
(千円)			
3,604			

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑥ 豊能二次医療圏救急医療対策事業	地域医療推進室	豊能医療圏に属する4市2町(吹田市・豊中市・池田市・箕面市・豊能町・能勢町)の休日・夜間において、入院治療を必要とする重症患者を受入れる医療機関に対し、その運営費の一部を補助し、地域における救急傷病者への医療体制の整備を図るもの。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成 30 年度	☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性 ※課題があるものは■	・全国的に医師の労働時間短縮などが議論される中、将来的に安定・継続した医療を確保するための方策の検討が必要である。	継続
(千円)			
14,673			

上記以外の予算事業 ※ 施策番号900番、昨年度で廃止した事業、指定管理者制度導入施設の管理運営事業などの評価対象外事業はこちらに記入。

事業名	所管室課	事業名	所管室課
おおさか・すいたハウス支援事業	地域医療推進室		